

ハンティをささえる
モノづくり通信

制作協力
朝日新聞大阪本社
読者室
電話06(201)8033



(八月例会) 場谷氏からのアドバイス



平成四年度から大阪市が「高齢者住宅設備改造費助成事業」「障害者住宅設備改造費助成事業」というのをやっており、所得制限はありますが、五十万円までは改造助成が出るようになりました。

福祉協議会を良き潤滑油として、大阪市に対して信頼性を構築して将来事業に備えてほしいとのアドバイスをいただきました。

場合岳史氏に「住宅改造に
関わる行政制度について」
のお話しをお聞きしまし
た。

「高齢者住宅整備資金貸
付制度」や「障害者住宅整
備貸付事業」など、低利で
改造費用が借りられる貸し
付け制度は従来からありま
した。助成制度としては、

「福祉機器・住宅研究会」としても、二つズに対応する際の費用の問題にて、とてかわっていますので、とてもよい勉強になりました。

最後に、「福祉機器・住宅研究会」も、大阪市社会

この度、94年度北米リ
ピリテーション工学カン
アレンスに参加する機会を
得た。(開催地 米国 テ
ネシー州 ナッシュビル)
今回の参加目的は、主に車
椅子・座位保持装置及び
ミニケーション機器に関す
る研究 開発状況を調査す
ること、それらを処方

2年前にも、上記の目的
にて同学会に参加したが、
その間における進歩には目
覚ましいものがあり、従来
の生活、作業環境等の改
善、整備方法に関する内
容のものから、機能で代償

る補装具、機器類を用いた障害者自身の能力改善を図る内容のものへと変革して来ており、かなり重度の障害者でも自立して生活して行けるようになってい

又、米国独自の特徴であるADA (Americans with Disabilities Act)

重度障害者も自立へ



車椅子をチェックする米崎氏

北米の学会に参加して

立へ
に
参加して

専門性を生かす介護

7月学習会・周藤氏のユニークな講演

地域から地元へ

94年7月2日の定例学習会は、岸和田市の社会福祉法人、寺田萬寿会、寺田萬寿病院理学療法士の、周藤浩氏に「地域から地元へ」と題して いままでに実践された記録をスライド映写と、解説で、ご講演いただいた。

事を第一に考え、住宅改造を進めるべきである。

障害者がリ・ハビリティシヨンにより機能回復し、地域に帰る社会人として一般的な生活が送れる様にする為に福祉機器があり、住宅改造がある。これらが一体となって障害者のノーマライゼーションが成り立つ。

介護者は障害者に対して自らの専門性を生かして接する、これは全ての健常者にとってどこかで介護者となれる。

現在の日本家屋は長い伝統の上に成り立って来たもので一朝一夕には変えることは難しい。それでも、障害者や高齢者の為にやられるべきではない。住宅改造、修繕

社機器の製作についても、技能を身につけ、それぞれの十分に能力を発揮して欲しい。これら全てのことが一体となってこれからの社会が成り立つのではないでしようか。

岡藤氏の講演は身振りが手振りにユーモアたっぷりのご講演でした。

材料情報

ステンレスも錆ます

ステンレス鋼の耐食性は、表面に成形される不動態皮膜で保持されるので、使用環境が不動態皮膜を保持しやすい条件であるかどうかで決まる。

全面腐食食その他の強い化学薬品によって、表面から次第に溶解減少して行く。

材料に残留あるいは負荷される引張り応力と塩素イオンの共同作用によって起る局部的腐食割れ。その他、孔食、隙間腐食、異種金属との接触腐食、腐食産

障害をもつアメリカ人法。
VA (Veterans
Administration)
連邦復員軍人管理
接 熱間加工時の熱影響

金銭の持主が、
労、エロージョン等があら
ます。

ことは、コトバ
『ノーマライゼーシ
ョン』
社会福祉政策・実践
・運動の理念・原理の
一つです。社会福祉の
対象者が可能な限り社
会で一般的な、あるい
は価値があるとされる
生活様式や個人の行動
・特徴を確立していく
こと、そのための方法
をいいます。

又、ノーマライゼー
ションは、見落とされ
がちな人格の尊厳に基
づいており、プライバ
シーや自己決定権や危
険・不幸な事態を招く
ようなリスクを選択す
る自由も尊重します。

この概念は、差別化につながらず、いかに施設ケアの中心から、地域ケアの中心へ模グルーブホームへの転換を促す理念として、北欧の精神薄弱施設で登場しました。その後、心身障害者（新社会学辞典より）

事例報告

車いすで外出

玄関にスロープ

Yさん 84才男性。ベッ
ト横の椅子から、屋外まで
直接車椅子で移動出来るよ
うに、玄関の内側と、外側
にスロープを取り付けてほ
しい。



出来上がったスロープ

身近な人を動かす ボランティア活動

Tさん 71才女性 部屋
入口のひきどりが重くて自分
で開閉できないので修理し
てほしい。

A 慢性関節リウマチ
四畳半一間のアパートに
一人暮らし。前足の関節症
状特に手指の変形、拘縮の
為ほとんどのADLが要介
助だが、何とか独歩で三食
外食している。近所の住人
が時折世話をする。

Aパートの管理係に戸の
修理を頼むがなかなか取り
合ってもらえず、それでも
管理係や管理人への遠慮か
ら、他にも頼めずじまい。



握りやすい把手

戸を開けたまま外出し、
お金を盗まれたことをき
かけて、知人の紹介で研究
会メンバーがかかわること
になる。コーディネータ
ー、作業V、OTの三人で
作業にかかったとたん、
「できるものならどっく
く」

Sさん 80才女性 鴨居
が下がって、障子や押し入
れなど四箇所引き戸が動
かないので何とかしてほ
しい。

百年を経た家屋も 住みよくなりました

A 独居、身障一級。
15年位前、両股関節に人口
骨挿入手術をしたが、二年
位前から神経に接触するの
腰や足にしびれが出て歩き
にくい。家屋は百年くらい
になり、だいぶすみが出
ている。

B はじめジャッキが必
要と考えたが、後藤さん
の指導により、角材をかま
して鴨居を上げ、戸を外し
て、足で押さえて、角材
は後藤さんの指導で運
法通りのものを用意して進
んでもらった。初めての挑
戦だったが、格好の角材の
お陰で、動かなかった戸が
はずせ、柿本さんと協力し
て、これで切った。角で
削ったたりして数年来動か
なかった引き戸が動いた。

手摺の取付けで 老後もあんしん



支えになります

Mさん 71才男性 将来
の事を考え、階段に手摺り
を取り付けたい。

A 三階建住居に娘夫婦
と同居、一・二階がMさん
の事を考え、階段に手摺り
の中心の場でもある。

B 手摺りの高さは前回
訪問時に、Mさんが一番使
い勝手が良い床面より80セ
ンチと決める。手摺りを取
り付ける部分の壁面は化粧
ベニア仕上げで、下地材は
化粧ベニア取り付けだけの

ものだった。
その下地材に直接取り付
けるのはかなり困難と思わ
れた為、まず木板を取り
付け、下地との固定をうま
くさせそれに手摺り(ステ
ンレス製パイプ 32ミリ)
を取り付ける。ただし、取
り付けの時の下地調整や、
持参した木板が不足した
り、また取り付けの際に割
れが生じたりと苦労したが
何とか取り付けた。

C 階段巾が狭い上に
蹴上げも20センチと高く昇
り降りにはかなり大変に思
われる。手摺りが取り付けら
れることにより気持ちのう
れにおいて多少の安心感が
生まれたのではないかと考
えられる。

会員プロフィール



山口修二
三洋電機総合デザイン
部。住宅設備機器・家電な
どのデザイン、設計、試
作。

岡本昭子
(株) 高島屋 建築事業
部。インテリア家具の
設計。設計図面の作成、自
助員製作補助。特技は英語
通訳。

上田隆男
永大産業(株)で住宅機
器(収納、キッチン、ドア
ー等)の研究開発をしてい
る。住宅機器関係の考察、
製作で協力したい。

21世紀のテ
クニカル・エ
イド研究フォ
ラム
会場 滋賀
県立長寿社会
福祉センター
(レイカディアセンター)
日時 10月7日(金) 13
時~18時

「福祉用具法施行1年と
将来」
「地域リハビリテーシ
ョンにおけるテクニカル・
エイドセンター」 兵庫県
立総合リハビリテーション
センター所長澤村誠志氏
日時 10月8日(土) 10
時~18時

「車椅子の供給分科会・
技術支援分科会・生の声分
科会」
第11回大阪市市民リハビ
リテーション講座
「生活にプラスワン」
日時 10月14日・15日

編集後記

作業療法士と設計者と製
作者が、お互いの知恵を出
しあい、障害者や高齢者が
生活しやすいものを作ろう
と努力しています。少しで
もその苦勞の一端を紙面
に載せられたらと取り組ん
でいますが、時間に追われ
てつい紋切りの型になって
まいいます。いいものが出来
たとの、みんなの表情など、
ほんとうはこんな顔を
載せたいのですが、会員
の動きやナマの声、新しい
情報を載せて行きたいと思
っています。会員の皆様
のご協力をよろしくお願い
します。

定例会のお知らせ

*十月
日時 十月一日
午後一時半~五時
場所 大阪市立社
会福祉センター
三階第五会議室
講師 建築設計士
赤谷吉信氏

*十一月
日時 十一月五日
午後一時半~五時
場所 大阪市立社
会福祉センター
三階第五会議室
講師 建築設計士
赤谷吉信氏